

豊かなつながりをめざして！

小郡市の「人権のまちづくり」②

— 宝城中学校区の取り組み —

小郡市の人権のまちづくり

- ・ 誰もの願いを実現できるまち
- ・ 人と人が豊かに出会えるまち
- ・ 人のぬくもりを大切にできるまち

小郡市では、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指して、「人権のまちづくり」に取り組んでいます。

現在、市内全ての中学校区に推進連絡会ができています。

今回は、1998年、市で最初に「人権のまちづくり」が立ち上がった宝城中学校区の取り組みをご紹介します。

宝城中学校区《人権のまちづくり》

一人ひとりがいきいきと暮らし、

誇れるまち

1990年代半ばから、「いじめ」「不登校」「荒れ」などの現象が社会問題化しました。当時も地域には、「同和」問題をはじめ、様々な人権問題を解決する取り組みはあったのですが、それぞれの取り組みで、十分な成果が上がっていませんでした。そこで、それらの取り組みを「人権」を視点にネットワークとしてつなぎ、豊かなものとしていくことからスタートしています。

人権フェスタ

～第七回人権フェスタより～

人権作品の紹介、人権コンサート、各校からの出し物、各種団体からの展示、出店を行っています。昨年度は、イソジンスによる「伝えたいこの思い」と題してのコンサートをメインイベントに開催し、400人を超える参加がありました。

「イソジンスのコンサート、よかったです。人生の中で夢や希望を持てる暮らしがどんなに幸福なことか伝わってきました。」

「二回目の参加でしたが、出店や各学校の発表など盛り上がってよかったです。コンサートは、歌詞に思いがこもっていたし、話も心に響いてあたたくくなりました。」

などの感想が寄せられています。



イソジンスコンサート



学校からの出し物

教育フォーラム in 宝城

～身近な人の思いに耳を傾ける～

子どもたちが日常思っていることを保護者・地域・行政全ての大人で受け止めようとスタートしたのが「教育フォーラム in 宝城」です。

御原小・味坂小・宝城中の児童・生徒が夏と冬に校区公民館に集い、小グループに分かれ、テーマをもとに意見交流をします。

毎回、児童・生徒120人以上、大人70人ほどの参加があります。

昨年度のテーマは、

「今一番ほしいもの！したいこと」

「友だちって なあに？」でした。

地域の方からは、

「子どもたちの素直な意見を聞けてよかったですと思います。純粋な気持ちをもつてもらうのもいいと思います。」

「回を重ねる毎に、自分の意見を言える子が増えている。中学生は、小学生のことを考えた司会ができて

いることに感心した。」

子ども達からは、

「みんなそれぞれすごい夢があることが分かりました。中学生は夢に向かっ

てがんばっていることが分かりました。」

などの感想があがっています。

子ども達にとっても、自分を表現する有意義な場になっています。



第23回教育フォーラム in 宝城 分散会の様子

これからの

人権のまちづくり



宝城中学校区 《人権のまちづくり》 会長 野口和美さん

「12年前の立ち上がりのおかげで、様々な行事や学習会などを通して、人権問題についての啓発を行いました。一番の成果は子どもたちの姿です。目に見える問題行動もなくなり、生き生きとした子ども達に出会えるようになりました。学校も、関連行事として、様々な取り組みを発信しています。地域の方の参加も年々増えていきます。さらに、このネットワークが地域の方々に広がっていくことを願っています。本年度の取り組みにも、ぜひご参加ください。」